


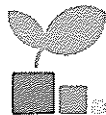


報道発表資料の配付日時 8月31日(月) 11時00分

発表項目 (行事名)	 ほっかいどう未来チャレンジ基金 「みらチャレ通信」Vol. 35の発行について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	<p>北海道の未来を担う若者達の海外挑戦を応援するため、平成28年12月に創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。この基金により海外に留学した方々の活動状況などをお伝えする月刊紙「みらチャレ通信」Vol. 35を発行しました。</p> <p>■掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附に対する知事感謝状を贈呈しました（株式会社メディカルシステムネットワーク様、武田孝様） ・寄附目録の贈呈式を行いました ・留学生たちの活動状況 文化芸術コース：清水柚衣さん ・第2期生の留学成果報告 <p>■主な配布先 応援パートナー（企業、団体等）、道内大学等 ※基金ホームページにも掲載しています。</p> <p>■発行時期 毎月下旬</p>		
参考	ほっかいどう未来チャレンジ基金 公式Facebook「みらチャレ」 https://m.facebook.com/mirachalle/ 基金生の海外での活動状況等を随時掲載しています。  公式Facebookページ みらチャレ 		
報道（取材） に当たって のお願い	助成対象者の海外留学の状況を情報発信することにより、道内の若者の海外挑戦に向けた機運醸成と、寄附などオール北海道での応援体制の構築を図っていきたいので、積極的な報道にご協力よろしく申し上げます。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所) 同時レク	
担 当 (連絡先)	総合政策部政策局総合教育推進課 工藤 電話：ダイヤルイン 011-206-7380（内線 23-109）		



北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします! 8月末時点で、第3期生2名が海外留学中です! ※うち1名が新型コロナウイルスの影響で一時的に中止

○寄附に対する知事感謝状を贈呈しました (株式会社メディカルシステムネットワーク様、武田 孝様)

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」へご寄附いただいた企業の代表者の方等に道から知事感謝状を贈呈させていただきました。

この度、皆さまからいただいたご寄附を活用させていただき、今後もふるさとへの愛着とグローバルな視点を持ち、本道に貢献できる若者の育成に取り組んでまいります。

株式会社メディカルシステムネットワーク様、武田孝様、本当にありがとうございました。



(株)メディカルシステムネットワーク様



武田孝(代理人)様

○寄附目録の贈呈式を行いました

8月6日(木)にOne Hokkaido Project実行委員会様から、寄附目録をいただきました。

この「One Hokkaido Project」は、北海道内のテレビ局6社(NHK札幌放送局、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道テレビ、北海道文化放送、テレビ北海道)が北海道命名150年を迎えた記念すべき平成30年(2018年)に、放送局の垣根を越え共同で事業や番組制作を行うプロジェクトです。このプロジェクトでは、北海道命名200年まで歌い継がれるような、北海道の新たな応援歌(私たちの道)を制作し、その応援歌のCD等音源の著作権料の一部を当基金にご寄附いただきました。

One Hokkaido Project実行委員会様、本当にありがとうございました。

「私たちの道」(YouTube公式ミュージックビデオ): <https://youtu.be/L60iwrqylzU>



○留学生たちの活動状況

文化芸術コース

第3期生 清水 柚衣さん 【留学先】ハンガリー 【留学期間】2019年9月~2020年8月(12か月間)

ハンガリーでリスト音楽院のプログラムに参加し、演奏活動を通じ、北海道の音楽環境やレベル向上を目指す

ハンガリーでの新型コロナウイルスの感染者数の伸びは以前ほど大きくなく、幾分落ち着いてきており、リスト音楽院が夏休みに入り、レッスンも原則なくなったので、新学期からの修士課程に備えるため7月下旬から一時的に日本に帰国しました。

帰国後もハンガリーにいる先生方と相談して新しい課題に取り組みながら、新学期に向けて練習をしています。また、自主的に決めた課題で4期*全てを含むプログラムも継続して練習しています。(※バロック、古典、ロマン、近現代)

後期に他の授業と重複して受けられなかったハンガリー語の補講をSkypeを使ったオンラインレッスンにて継続して受けています。

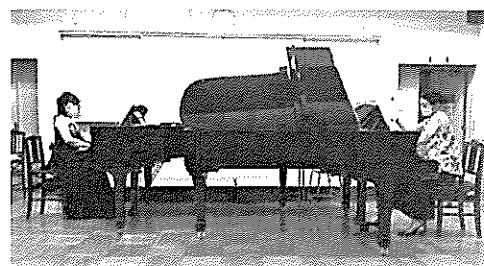
また、8月20日(木)には母校である岩見沢西高等学校から依頼があり、二年次選択音楽「演奏に親しむ」の授業で演奏を行いました。

ショパンのエチュードやワルツなど計5曲を演奏するとともに、同校で音楽を担当する杉山教諭と「Francis Kayali氏による2台ピアノのための作品Idyll(2010)」の世界初演も行いました。

コロナウイルス流行前とはまた違った緊張感の中、改めて自分の演奏と向き合う時間と第三者に聴いてもらう機会、指導者によるフィードバックのバランスの大切さを感じました。また、その作品にとって記念すべき初演を務めさせていただくことができ、大変貴重で光栄な機会でした。シンプルですが大変美しく、愛をテーマにした優しい曲で、2台のピアノで演奏するとより深みと輝きがプラスされるような魅力的な作品でした。

エネルギーに溢れた高校生と交流ができ、沢山元気をもらうことができました。

新学期からはいよいよ修士課程としての授業がスタートしますので、引き続き気を引き締めて頑張ります。



○第2期生の留学成果報告 ~R元年度に全ての基金生が帰国した第2期生の成果報告を紹介します~

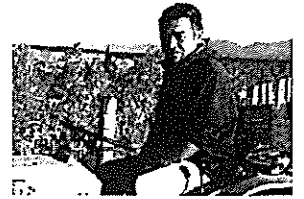
未来の匠コース 今村 直史さん 【留学先】ニュージーランド【留学期間】2018年11月~2019年4月（5か月）
北海道のワインの将来を見据え、醸造用ぶどう栽培の本場を体験

【留学概要】

醸造用ブドウ品種の萌芽期から収穫期までの栽培作業の実践と栽培技術の習得をするとともに、北海道でも気運が高まりつつあるワインツーリズムについてどのような体系・ノウハウで運営されているかの視察と考察を行いました。

【留学を通じて感じたこと】

北海道の半分程度の降水量しかないニュージーランドで、極端に違う条件の場所から北海道を見て、比べ、考え直す機会をいただけたと感じました。また、実際にワイナリー巡りをして、企業や地域内での様々な「運動性」を感じました。企業や施設がワインを触媒として上手に連携し合いながら地域全体の観光産業を盛り上げており、非常に見習うべきものがあると感じました。



【現在(有)鶴沼ワイナリー勤務】

【帰国後の活動・今後の目標】

北海道を世界的なワイン銘醸地へ

ニュージーランドのブドウ栽培技術について、道内のワイン生産関係者と共有するため情報交換会に参加し、活動実績を発表しました。また、現在は勤務先の(有)鶴沼ワイナリーで、海外からの観光客が来園された際に、ニュージーランドでの経験や自社との違いを明確に伝えられるようになりました。今後は北海道を世界的なワイン銘醸地にするべく、留学で得た技術を自社で試してデータを収集し、北海道のブドウ栽培に還元していきたいです。



未来の匠コース 服部 大地さん 【留学先】イタリア【留学期間】2018年9月~2019年3月（6か月）
スローフード発祥の地で学び、北海道ブランドメニューを開発

【留学概要】

イタリアの料理学校で地方料理を学ぶとともにチーズやワイン、生ハムの工場見学にも行き、食文化を本場で体験できました。

また、トスカーナ州のレストランでの研修では、野菜の下処理からメイン料理作りまで携わることができ、料理技術の向上を図ることができました。

【留学を通じて感じたこと】

パスタやリゾット、ピザの調理を本場で体験でき、素材のおいしさや、こだわりの強い繊細で料理に対する情熱を肌で感じました。

また、日本の調味料を独自の発想で積極的に使うことや、メニューの試作をスタッフ全員で行い、意見交換する姿勢は見習いたいと思いました。



【現在(株)丘の上のわくわくかパティ〜勤務】

【帰国後の活動・今後の目標】

北海道ブランドの地域フードを世界に発信

食材に対する感謝の気持ちが深まり、今まで廃棄していたものを新商品に変えたいという思いからホエイを使ったキャラメルなどを作りました。また、みらチャレ1期生の高橋宗一郎さんと協同でイタリア産のワインと料理のディナーを企画しました。今後は、地元の食材で作る料理を提供し、勤め先である「丘の上のファームレストラン」を地域に愛されるレストランへと成長させたいです。



帰国した基金生の活躍機会や、活用できる場の提供などございましたら、ぜひ下記（総合教育推進課）に御連絡ください。

応援パートナーの皆様

(2020年8月現在・敬称略)

武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士)
鈴木 伸明 船津 秀樹 山田 義勝 その他匿名希望の個人・企業5者